

研究課題の名称

「脊柱狭窄症患者の6分間歩行距離に影響する身体・心理機能要因の検討」

研究の目的及び意義

腰部脊柱管狭窄症（Lumbar Spinal Stenosis：LCS）は、腰痛、下肢痛、しびれ、筋力低下、間歇性跛行、膀胱直腸障害などを生じ、ADL 障害や QOL 低下が生じることが報告されている。この間歇性跛行は、LCS の典型的な臨床症状として知られており、安静時には症状がないかまたは軽微であり、歩行もしくは立位の持続により症状が発現もしくは増悪する。6分間歩行試験（6-minute walk test：以下、6MWT）は、6分間歩行距離（6-minute walk distance：6MWD）を測定するテストであり、間歇性跛行の程度や治療効果の判定として用いられている。本研究では、LCS 患者を対象に、6MWT および身体・心理機能を横断的に評価し、6MWD に影響する身体および心理機能を明らかにすることを目的とする。本研究により術前 LCS 患者の間歇性跛行の影響要因を明らかにすることができれば、治療方略を検討する一助となる可能性がある。

研究対象者の選定方法

対象者は、2024年10月23日から2029年10月31日の間に、洛和会丸太町病院でLCSに対する手術目的で入院し、術前評価を行った80例を対象とする。カルテ情報から、疾患名や年齢、性別、病歴、術前評価結果を収集する。

予定研究期間

2024年10月23日から2029年10月31日

研究への協力を行えない場合

本研究は、カルテ情報を用いるのみであり、対象者の負担および不利益がないように十分に配慮しております。また、個人を直ちには識別できないような匿名化を行っております。研究を拒否したことでの不利益を受けることは一切ありません。ただし、途中で参加を拒否する場合は下記連絡先までご連絡先いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

洛和会丸太町病院リハビリテーション部

理学療法士 廣津昂

電話：075-801-0351(代表)

メールアドレス：hirotsu-subaru@rakuwa.or.jp